

令和7年度

中学校教育課程研究協議会【道徳】

美濃・可茂教育事務所

日時 令和7年7月24日(木) 13:00～16:00

場所 関市立桜ヶ丘中学校 さくら教室

【全体主題】

「指導と評価の一体化」を核とした授業改善・学習改善の在り方

1 日程

13:00～ 13:10 全体会
13:10～ 15:50 研究協議
15:50～ 16:00 諸連絡

2 当日の内容及び持ち物について

【グループ協議について】

●グループ協議Ⅰ

生徒が道徳的諸価値を理解し、道徳的価値観を形成するための明確な指導の計画を立て、授業の中で予想される具体的な児童の学習状況を想定した、学習指導過程や指導方法の改善についての研究協議

・「考え、議論する道徳」に実現に向けて、学習過程をどのように工夫されたか、また、指導の意図を明確にして、どのような発問をされたかを交流し、道徳科における指導と評価の一体化について考えます。

●グループ協議Ⅱ

生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価の在り方についての研究協議

・当日提示する資料を基に、道徳的価値を理解し、道徳的価値観を形成するための具体的な「評価の視点」を設定・交流し、道徳科における評価の在り方について考えます。

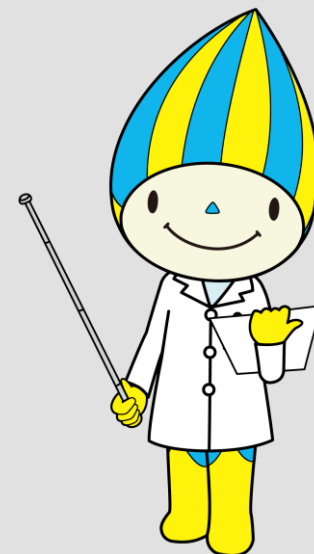
●当日の持ち物

- 1 中学校学習指導要領解説（平成29年告示） 特別の教科 道徳編
- 2 教育事務所が作成した資料（次ページからのプレゼン）
- 3 自校で使用している道徳の教科書（1年生）
- 4 名札、上履き
- 5 グループ協議Ⅰで用いる資料10部

自分の実践を説明しやすくするため、テーマに関わる実践について「指導案」、
「指導と評価の計画(単元指導計画)」、「教材や実践の様子が分かる写真」などを任意の様式で持参してください。

指導と評価の一体化を核とした 授業改善・指導改善の在り方

- 1 グループ交流
- 2 道德部会 全体説明
 - ①道德教育における
カリキュラム・マネジメント
 - ②道德科の指導 （協議１）
 - ③道德科の評価 （協議２）
- 3 まとめ・諸連絡



令和7年度
教育課程研究協議会【道德部会】

部会全体説明①
「道德教育における
カリキュラム・マネジメント」



①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」



<内容>

- 1 道徳教育の重点目標の明確化
- 2 重点内容項目の設定
- 3 教育活動全体で行う道徳教育の実施
- 4 道徳教育の全体計画及び
別葉の作成・活用・見直し

①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」

道徳教育の重点目標の明確化

学校における道徳教育は、特別な教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

（学習指導要領 第1章 総則 第1）



①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」

道徳教育の重点目標の明確化

教育活動全体を通して道徳性を養う指導



①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」 重点内容項目の設定

学校の教育目標

あかるく なかよく たくましく

学校で育成を目指す児童生徒像

- ・ 笑顔で挨拶ができ、約束やきまりが守れる子
 - ・ 思いやりの気持ちをもって、みんなと仲良くできる子
 - ・ 夢や希望をもち、努力と強い意志で挑戦できる子
- ・ 打合せや職員会で確認。
- ・ 経営簿に位置付けて常に意識。

重点内容項目

「C規則の尊重」「B親切、思いやり」
「A希望と勇気、努力と強い意志」

①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」 重点内容項目の設定

重点内容項目
「D生命の尊さ」

関連する教育活動は何ですか。

共通理解

別葉

共通指導

①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」 教育活動全体で行う道徳教育の実施

各教科で行う道徳教育

ア 道徳教育と各教科等の目標、
内容及び教材との関わり

イ 学習活動や学習態度への
配慮

小学校学習指導要領 解説 P149 (付録5)
中学校学習指導要領 解説 P162 (付録5)

①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」 教育活動全体で行う道徳教育の実施

ア 道徳教育と各教科等の目標、 内容及び教材との関わり

第4学年 国語

「俳句・短歌に親しもう」(光村)

地元出身者の俳句や短歌の響きやリズムに親しみましょう。

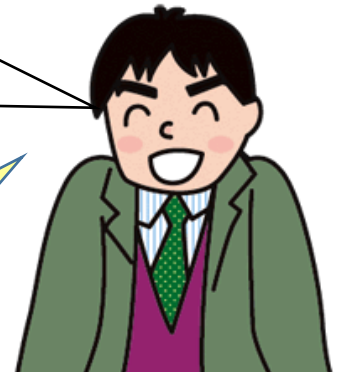
おもしろうて
やがて悲しき
鵜舟かな
芭蕉

① わたしは、自分が生まれ育った岐阜県が大好きです。有名な方も詠んでいます。

では、音読しましょう。

② わたしは、清流長良川を大切にしたいと思っています。皆さんは大切にしたい環境はありますか？長良川を題材にした俳句があります。

では音読してみましょう。



伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材として
扱うことができます。

①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」 教育活動全体で行う道徳教育の実施

イ 学習活動や学習態度への配慮



話し合いの中で自分の考えを発表する。

仲間の発言に耳を傾ける。

望ましい道徳性を育てることにつながります。

協働して課題に最後まで取り組む。

①「道徳教育におけるカリキュラム・マネジメント」

道徳教育の全体計画及び別葉の作成・活用・見直し

道徳教育の全体計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、児童、学校及び地域の実態を考慮して、学校の道徳教育の重点目標を設定するとともに、第2に示す道徳の内容との関連を踏まえた各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示すこと。

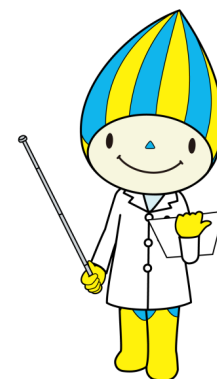
(学習指導要領 第1章 総則 第6)



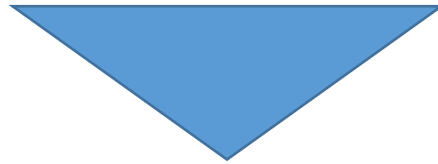
指導内容と指導時期を明示する必要があります。

令和7年度
教育課程研究協議会【道德部会】

部会全体説明② 「道德科の指導」



**「主体的・対話的で深い学び」
の実現**



**「見方・考え方」
を働かせる**

「見方・考え方」とは

各教科の「見方・考え方」は、
「どのような視点で物事を捉え、ど
のような考え方で思考していくの
か」というその教科ならではの物事
を捉える視点や考え方である。各教
科を学ぶ本質的な意義の中核をなす
もの・・・（略）。

「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編」

道徳科における「見方・考え方」とは

様々な事象を、道徳的諸価値の理解を基に自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること。

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）平成28年12月21日」

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める**学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※道徳科の目標より一部抜粋 ※（ ）は中学校

この学習活動を
しっかり捉え学ぶことが
道徳科において
「見方・考え方」を
働かせること

②道徳科の指導・目指す授業の方向

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（広い視野から）多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める**学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

※道徳科の目標より一部抜粋 ※（ ）は中学校

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.16」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.13」

②道徳科の指導・目指す授業の方向

〔道徳的諸価値についての理解〕とは

- 価値理解・・・よりよく生きる上で大切なことであると理解すること
- 人間理解・・・道徳的価値は大切だと分かって、なかなか実現することができない人間の弱さなども、理解すること
- 他者理解・・・道徳的価値を実現したり、できなかったりしたときに、感じ方・考え方は多様であることを、理解すること

②道徳科の指導・目指す授業の方向

〔自己を見つめる〕とは

- 自分の経験やその時の感じ方、考え方と照らし合わせながら、更に考えを深めること。（小学校）
- 真摯に自己と向き合い、自分との関わりで改めて道徳的価値を捉え、かけがえのない人格としてその在り方や生き方など自己理解を深めていくこと。（中学校）

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.18」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.15」

②道徳科の指導・目指す授業の方向

〔物事を(広い視野から)

多面的・多角的に考える〕とは

- 物事を一面的に捉えるのではなく、道徳的諸価値の理解を基に、**様々な視点から物事を考えること**（小学校）
- 諸事情の背景にある**道徳的価値の多面性に着目させ、それを手掛かりに考察し、様々な角度から総合的に考察すること**（中学校）

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.18」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.16」

②道徳科の指導・目指す授業の方向

〔自己の（人間としての）

生き方についての考えを深める〕とは

- 自分との関わりで深めたり、自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方などを確かに想起したりすることができるようにすること（小学校）
- 人間についての深い理解と、これらを鏡として行為の主体として自己を深く見つめると（中学校）

②道徳科の指導・目指す授業の方向

道徳的諸価値についての理解を基に、
自己を見つめ、物事を（広い視野から）
多面的・多角的に考え、自己の（人間と
しての）生き方についての考えを深める
学習

※（ ）は中学校



**道徳的判断力、道徳的心情、
道徳的実践意欲と態度を育てる**

②道徳科の指導・学習指導の展開例

導入の工夫・・・

道徳的価値や自己を見つめる動機付けを図る。

- ① 主題や道徳的価値について、問題意識をもたせる導入
- ② 教材の内容に興味や関心などをもたせる導入

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.82～86」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.81～85」

より主体的に、道徳的価値や自分について
考えていくことができるようにする

②道徳科の指導・学習指導の展開例

展開の工夫・・・

道徳的諸価値の理解を基に、自己を見つめ、
多面的・多角的に考える活動を工夫する。

- ① 発問の工夫
- ② 話合いの工夫
- ③ 動作化・役割演技などの表現活動の工夫

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.82～86」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.81～85」

自分自身の問題として深く関わり、
道徳的価値についての理解を深めていく

②道徳科の指導・学習指導の展開例

終末の工夫・・・

道徳的価値を実現することのよさや難しさ
などを確認して**今後の発展につなげる**。

- ・考えたことや新たに分かったことを確かめる。
- ・学んだことを深く心にとどめる。
- ・これからへの思いや課題について考える。

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.82～86」

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳 P.81～85」

道徳的な考えや成長、明日への課題などを実感し、
確かめることができるようにする

②道徳科の指導・学習指導の展開例

指導の配慮事項より

- ・ 多様な考え方を生かすための言語活動
- ・ 問題解決的な学習など多様な方法を取り入れた指導
- ・ 情報モラルと現代的な課題に関する指導

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.87～101

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.86～103

②道徳科の指導・「考え、議論する道徳」

■「考え、議論する道徳」とは・・・

発達段階に応じ、
答えが一つでない道徳的な課題を
一人一人の児童（生徒）が
自分自身の問題と捉え、向き合う
「考える道徳」「議論する道徳」

※（ ）は中学校

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.2

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.2

協力 協議 ①

生徒が道徳的価値を理解し、
道徳的価値を形成するための
明確な指導の計画を立て、
授業の中で予想される具体的な
児童生徒の学習状況を想定した、
学習指導過程や指導方法の改善
について

文部科学省では、「特別の教科 道徳」の趣旨の実現を図るため、「考え、議論する道徳」の授業づくりの参考となる映像資料等を提供し、学校の取組を全力で支援します。



道徳教育について



実践事例



教育委員会等作成指導資料
（手引き）



授業で使える
郷土教材

Pick Up

令和6年1月23日 小学校1事例（第1学年）の動画を追加しました。

令和5年9月26日

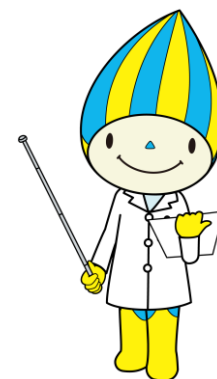
文部科学省「道徳教育アーカイブ」 URL : <https://doutoku.mext.go.jp/>

インタビュー内容の一覧

- ① 道徳科の授業で意識していることや大切にしていることは？
- ② TTの授業を行うにあたり大切にしていることや、気をつけていることは？
- ③ 内容項目「自主、自律、自由と責任」をどのように捉えて授業を構想したか？
- ④ 生徒が自分自身との関わりで考えることができるように授業で工夫していることは？
- ⑤ 生徒が多面的・多角的に考えることができるようにするために工夫していることは？
- ⑥ 発問や話し合い、板書などはどのような意図をもって工夫したか？
- ⑦ 生徒が自己の生き方についての考えを深めるためにどのような工夫をしたか？
- ⑧ 授業で生徒が自分の考えを表現しやすくするための工夫は？
- ⑨ 「考え、議論する道徳」の質的充実、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善は？
- ⑩ 今回の授業でICT機器を活用した意図は？
- ⑪ 道徳科の授業で悩まれている先生方へのアドバイス

令和7年度
教育課程研究協議会【道徳部会】

部会全体説明③ 「道徳科の評価」



③道徳科の評価・評価について

道徳科における評価の意義

児童（生徒）の**学習状況**や**道徳性**に係る**成長の様子**を**継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある**。ただし、**数値などによる評価は行わないものとする**。「第3章 特別の教科 道徳」の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の4

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.107

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.109

③道徳科の評価・評価について

<学習状況の把握方法の例>

	方法
ワークシート	感じ方・考え方を把握する。
観察対象児童 (対象生徒)	観察対象児を決め、見とる。
板書の写真	板書の写真をとって、記録を蓄積する。
机列表	児童・生徒の考えをメモし、蓄積する。
録音・録画	児童・生徒の発言やつぶやき等を基にする。
授業の参観者	授業参観者の意見を基にする。

組織的・計画的な評価

③道徳科の評価・「評価の視点」①

一面的な見方から、**多面的・多角的**な見方へと発展させているかどうか

- ・ 道徳的価値にかかわる問題に対する判断の根拠や、そのときの心情を様々な視点から捉え、考えようとしている。
- ・ 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
- ・ 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。

など

③道徳科の評価・「評価の視点」②

道徳的価値の理解を 自分自身との関わりの中で深めているか

- ・ 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
- ・ 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解をさらに深めている。
- ・ 道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。

など

③道徳科の評価・評価について

道徳科の指導方法の工夫

- ・教材を提示する工夫
- ・発問の工夫
- ・話し合いの工夫
- ・書く活動の工夫
- ・動作化、役割演技など表現活動の工夫
- ・板書を生かす工夫
- ・説話の工夫 等

これらの指導方法の工夫は、児童生徒が表現しやすい状況（評価の視点）をつくっているといえる。

どのように見取るか…

- ・ 発言、交流の様子
- ・ 感想、振り返り、質問紙への記述 等

発言が多くない児童生徒

文書に記述することが苦手な児童生徒

日本語での表現が難しい児童生徒

組織的・計画的な評価

指導と評価の一体化

児童（生徒）のよい点を進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること

学習指導要領第1章総則の第3の2の（1）

自らの成長を実感し
さらに意欲的に取り組もうとするきっかけ

指導と評価の一体化

明確な意図をもって指導の計画を立て、授業の中で予想される具体的な児童（生徒）の学習状況を想定し、**授業の振り返りの観点**を立てることが重要

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.115

文部科学省「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳」P.117

授業を振り返る観点

ア 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、**道徳的価値の理解**を基に**自己を見つめ自己の生き方について考えを深め**られるように適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。

指導と評価の一体化



教師が指導の目標や
計画、指導方法の改
善・充実に取り組むた
めの資料となるもの



自らの成長を実感し
意欲の向上につなげ
ていくもの

指導に生かされ、児童の成長につながる評価
でなくてはならない。

協力 三義 議②

生徒の学習状況や道徳性に係る
成長の様子を継続的に把握し、
一人一人のよさを伸ばし、
成長を促すための
評価の在り方について